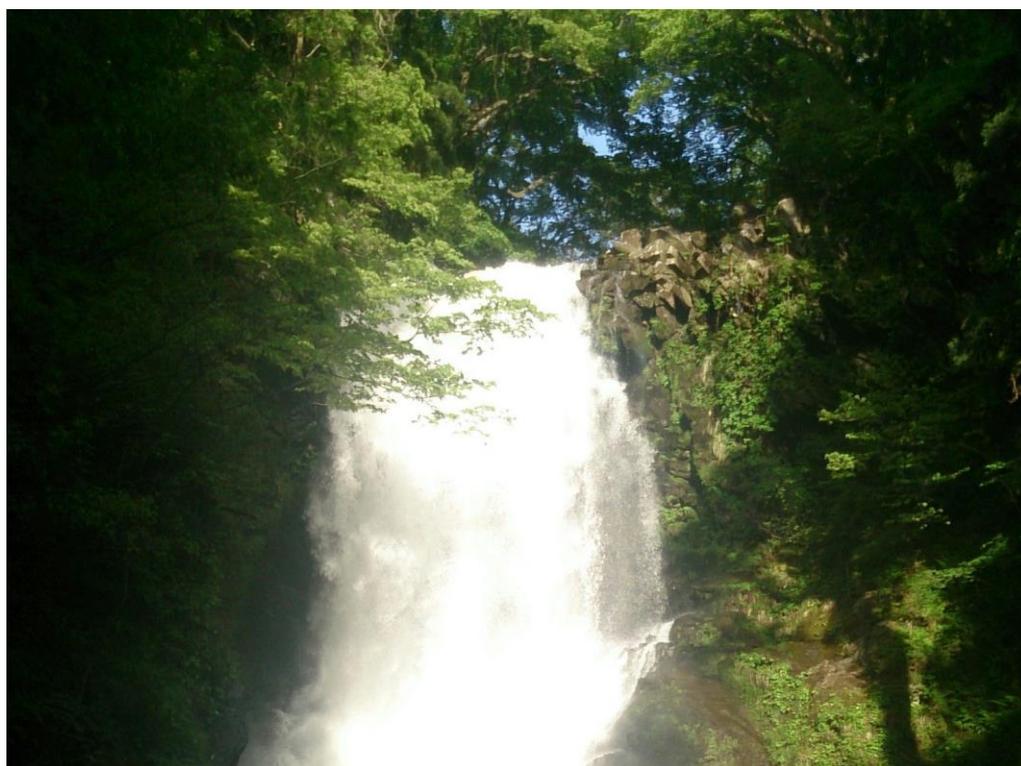


**平成31年度(2019年度)入省予定
環境省一般職理工系**

内定者の声



はじめに

「内定者の声」を手にとっていただき、ありがとうございます。本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第一部では「内定者はどのような人か」、第二部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第三部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。ぜひご参考にしてください！

2019年1月
環境省一般職理工系内定者一同

《本冊子の構成》

第一部 内定者のプロフィール

基本データ

(学科/専攻、学歴・性別・年齢、試験区分、国家公務員試験合格年度など)

自己紹介

志望動機

環境省を志望される方へのメッセージ など

第二部 国家公務員採用一般職試験 体験記

勉強量について

勉強内容・試験内容について

第三部 官庁訪問 体験記

※ 環境省 Web サイトでも公開しております。

(http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_ra2/from_pe/index.html)

《付記》

本冊子の内容に関する責任は、全て製作者である内定者にあります。また、各人の考え方、勉強法などはあくまで個人的な見解です。ご理解の上、ご覧ください。また、次年度以降の採用試験では、試験日時や英語試験の活用など、H30年度試験と一部違いが見られる場合もございますのでご注意ください。詳しくは、人事院 Web サイト

(<http://www.jinji.go.jp/>) でご確認ください。

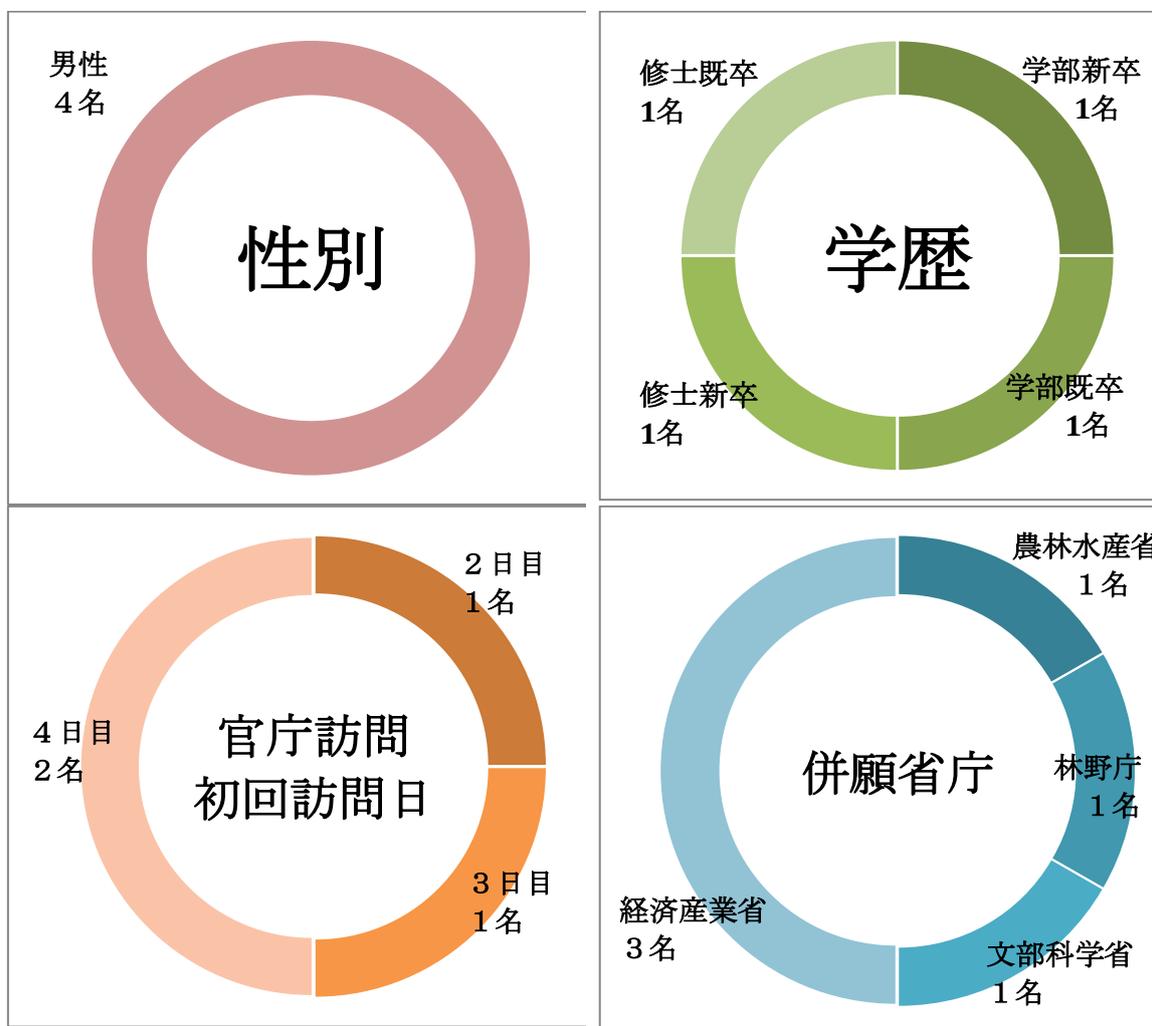
以上のことを十分にご理解の上、ご活用くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

第一部 内定者のプロフィール

2019年度入省予定の一般職理工系内定者は、全4名となりました。

ここでは、内定者のプロフィールや志望動機、就活のスケジュール、そして皆さんに向けたメッセージを記載しました。就職活動のお役に立てれば幸いです。

2019年度 一般職理工系内定者の内訳



かつお	ジョセフ	ぶー	K
-----	------	----	---

PN： かつお

基本データ	
【大学所在地・学科/専攻】	東京都・化学科
【学歴・性別・年齢】	学部新卒・男性・22 歳
【試験区分】	化学
【国家公務員試験合格年度】	H30 年度（2018 年度）
【試験席次】	下の上ぐらい
【説明会参加回数】	1 回
【併願した省庁（第 1 クール訪問順）】	経済産業省
【他に検討した進路】	国家総合職

【就活のスケジュール】

時期	内容
学部 3 年 4 月	進路に迷い、公務員を考える。
学部 3 年 9 月	本格的に公務員試験の勉強を始める。
学部 4 年 4 月	国家総合職試験を受験し不合格になる。気持ちを入れ替えて国家一般職試験に集中する。
学部 4 年 6 月	国家一般職一次試験を受験する。
学部 4 年 7 月	一次試験に合格する。一般職二次試験を受験する。また、一般職向けの各省庁の業務説明会に参加する。
学部 4 年 8 月	一般職に最終合格する。官庁訪問にて環境省から内々定をいただく。

【コラム：情報収集について】

情報収集は基本的に希望する省庁のパンフレットや説明会に参加することで得ることができます。しかし、それだけではなく他の省庁の説明会に参加することで、一つの方向からしか見えていなかった自分の考えが広がり多角的に見ることができます。そのため、様々な説明会に行き自分が本当に行いたいことを調べることが大切だと思います。

【かつおの脳内メーカー】



かつお

ジョセフ

ぶー

K

【私はこんな人です】

基本的には明るい人です。とは言いつつも最初は緊張のあまりそのようには感じないと思われる方が多く、周囲の雰囲気は解けこんでいくにつれて明るくなっていくと友人からは言われています。

【趣味・特技】

趣味は卓球です。小学校と中学校では卓球部に所属しており、今でもかつての友達と卓球をしています。

また、音楽鑑賞も趣味の一つです。特にクラシック音楽が好きで気分転換によく聴いています。

【志望動機】

幼いころに地球温暖化に関するニュースを見て環境問題に関心を持ったことがきっかけであり、進路を考えた際に近年の気候変動から環境問題について取り組みたいと考えました。地球温暖化を含む環境問題は世界共通の課題であり、国内外を通して幅広く環境問題に取り組むことができるということや、国内における環境政策に対して地方自治体・民間企業との連携や制度の運用を行いたく環境省を志望しました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

情報収集と熱意が大事であると思います。基本的な情報は、省庁が配布をしているパンフレット等で得ることができます。更に情報を得たい場合は、説明会に参加すると良いと思います。説明会では職員の方々が実際に現地で経験してきたことや省庁内での雰囲気等の様々なことについて教えていただけるので、その情報をもとに環境省を志望したいという気持ちが強くなったのならば、その気持ちを面接で熱意をもって伝えることが大事であると思います。

かつお	ジョセフ	ぶー	K
-----	------	----	---

PN：ジョセフ

基本データ	
【大学所在地・学科/専攻】	茨城県・環境バイオマス共生学専攻
【学歴・性別・年齢】	修士既卒・男・27 歳
【試験区分】	化学
【国家公務員試験合格年度】	H30 年度（2018 年度）
【試験席次】	中の下ぐらい
【説明会参加回数】	5 回
【併願した省庁（第 1 クール訪問順）】	経済産業省・文部科学省・農林水産省
【他に検討した進路】	東京都・茨城県

【就活のスケジュール】

時期	内容
平成 29 年 3 月	大学院を修了し、民間企業に就職。
8 月	サマートライアルに参加し、環境省で働きたいと思う。
9 月	前職を退社し、公務員試験勉強をぼちぼち始める。また、日本各地に旅行に行く。
平成 30 年 5 月	国家総合職一次試験に落ちショックを受ける。なあなあで勉強していたと反省。
8 月	国家一般職試験に無事合格し、官庁訪問し、環境省から無事内定をいただく。
10 月	早期入省し、環境省で働き始める。

【コラム：環境省で働き出して・・・】

私は現在、福島復興に関わる仕事の窓口業務をしています。一ヶ月勤務し、私が感じたことを書きたいと思います。是非参考にしてください。

・コミュニケーションの職場

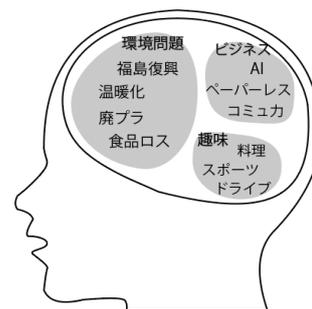
（相手の言いたいことを瞬時に理解し、わかりやすく相手に説明する能力がかなり必要。自分もまさに今、鍛えているところです。）

・outlook を使いこなし、瞬時に案件をさばけ

（メールは 1 日に 50～100 通はざらに来る。しかもメールで来る案件の多くは、切がかなり短い（本日もざら）。）

この 2 つは国家公務員として働く上でマストなスキルです。今後、国家公務員として働きたいと考えている方は是非、この 2 つの能力を鍛えておいてください。鍛えた分だけ、国家公務員生活を有意義なものにすることができると思います。

【ジョセフの脳内メーカー】



かつお

ジョセフ

ぶー

K

【私はこんな人です】

- ・基本的には人見知りで、口数は少ないです。ただ、仲良くなると、うるさいくらい話してしまいます。
- ・世話好きです。大学の際はよく後輩の面倒を見ていました。
- ・湖沼マスター。大学で湖沼の温暖化の研究をしていたこともあり、日本の湖沼はほとんどいきました。おススメは本栖湖です。晴れた朝に行くと、逆さ富士がきれいに見ることができ、紅葉もきれいです。

【趣味・特技】

- ・スポーツ観戦
サッカーや野球などを中心にスポーツ全般見るのが好きです。サッカーは小・中学校のクラブでやってました。
- ・旅行・ドライブ
車を走らせて、山や海にドライブしに行くのが好きです。また、旅行も好きで、特に絶景を見に行くのが好きです。
- ・料理
イタリアンレストランでアルバイトをしていたこともあり、料理を作るのが好きです。大学の際は毎日自炊をしていました。

【志望動機】

環境問題を解決するために、「企業や家庭の環境技術革新」と「再生可能エネルギーの促進」を国の立場で幅広く支援がしたいと考え、環境省を志望しました。

私は湖沼の温暖化の研究をする中で、将来の湖沼水温の値が示す、温暖化の影響の大きさに将来の地球に対する不安を常日頃感じていました。また、前職の食品工場では、本来リサイクルできるはずの食品ロスが、近隣にリサイクル企業がないことから可燃ごみとして捨てられている現状を目の当たりにしてきました。この問題は一企業だけで解決するのが難しく、行政の支援が不可欠だと感じました。これらの体験から私は国で環境問題を解決するためのプラットフォームをつくり、支援をしたいと考え志望しました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

環境省の方々是人当たりがよく、親身になって相談事につけてくれる方が多くいます。また、環境問題を改善したいという熱意を持った方が多くいます。「環境問題を解決したい」という熱意があれば、楽しく仕事をできる職場だと思います。

環境省が主催する説明会には積極的に参加しましょう。特に官庁訪問直前の説明会には絶対行きましょう。人事の方に名前を認識してもらうことは内定を勝ち取る一つのアドバンテージになります。

官庁訪問では面接官の方々に「こいつと一緒に働きたい」と思ってもらえることが一番大切です。面接官の方々とスムーズな会話をする事と環境省への熱意をぶつけることができれば、きっとよい結果が出ると思います。

就職活動が皆様にとって良い結果となることを願います。

かつお	ジョセフ	ぶー	K
-----	------	----	---

PN : ぶー

基本データ	
【大学所在地・学科/専攻】	北海道・土木工学専攻
【学歴・性別・年齢】	修士新卒・男・24 歳
【試験区分】	土木
【国家公務員試験合格年度】	H30 年度 (2018 年度)
【試験席次】	上位 10% くらい
【説明会参加回数】	10 回程度
【併願した省庁 (第 1 クール訪問順)】	環境省自然系一般職
【他に検討した進路】	林野庁、地方公務員

【就活のスケジュール】

時期	内容
修士 1 年 11 月	学校や外部で行われる説明会に参加する。
12 月	説明会を国家公務員に絞り参加する。
2 月	公務員試験の勉強を開始する。
3 月	説明会等を経て、環境省を第 1 志望に決める。
修士 2 年 4 月	国家総合職 1 次試験を練習に受験する。結果 1 次不合格。
6 月	国家一般職 1 次試験を受験する。
7 月	国家一般職 2 次試験を受験する。
8 月	一般職試験に合格し、官庁訪問にて内々定をいただく。

【コラム : 説明会の心構え】

公務員の説明会は業務を深く知るうえでもちろん重要ですが、その省庁でどんな人が働いているかを知るきっかけになります。HP やパンフレットでは得られない生の職員の方の話を聞く、質疑応答や座談形式で実際に職員の方と話す、など説明会ならではのことで。

もうすでに志望を決定している場合でも、説明会に参加することで意欲を高める、改めて志望理由を深く考えるいい機会になると思います。ぜひ参加しましょう。

【ぶーの脳内メーカー】



かつお

ジョセフ

ぶー

K

【私はこんな人です】

自分は学校以外四六時中ご飯について考えている人間です。今日の晩御飯は何を作ろう、今が旬の食べ物は何だろう、今度どこに食べに行こうといった具合に。

【趣味・特技】

趣味は食べ歩きで、ラーメン屋や定食屋など様々なお店を食べ歩いています。またご飯を作ることも趣味で、月に何度か仲のいい友人と自分の作った料理で飲み会をしています。

【志望動機】

自分は就職活動の段階で国家公務員を志望しましたが、特にどの省庁に行くかは志望した最初の時点では決めていませんでした。そのため様々な省庁の説明会に参加し、自分が国で働く上で何をやりたいかを考えました。その中で環境省のパンフレットにあった「この数十年が、これからの千年を決める。」という言葉に惹かれ、そして環境行政が今後日本のみならず世界的にも重要となっている現状から環境省で働くことに大きなやりがいを感じたため志望しました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

環境省を志望する人は当たり前だとは思いますが、環境問題に関心があることと思います。志望するうえで重要なことはその関心を持った環境問題に対し、自分がどうしていきたいかという意識を持つことだと思います。それは具体的な方策を考えるという事でなくとも、自分がしたいことの方角性を普段から考えていくことで十分であると思います。それに合わせ、日頃から環境問題に関する情報をニュースや環境白書等から得ることもお勧めします。

最後に、繰り返しになりますが自分が何をしたいのかをよく考え、志望を決定してください。きっとそれは熱意となり、試験や面接へ向けたモチベーション向上に役立つでしょう。それでは皆様にとって良い結果となることをお祈り申し上げます。

かつお	ジョセフ	ぶー	K
-----	------	----	---

PN : K

基本データ	
【大学所在地・学科/専攻】	東京都・物理
【学歴・性別・年齢】	学部既卒・男・26 歳
【試験区分】	物理
【国家公務員試験合格年度】	H30 年度（2018 年度）
【試験席次】	下から数えた方が早いです。
【説明会参加回数】	1 回
【併願した省庁（第 1 クール訪問順）】	経済産業省
【他に検討した進路】	教職

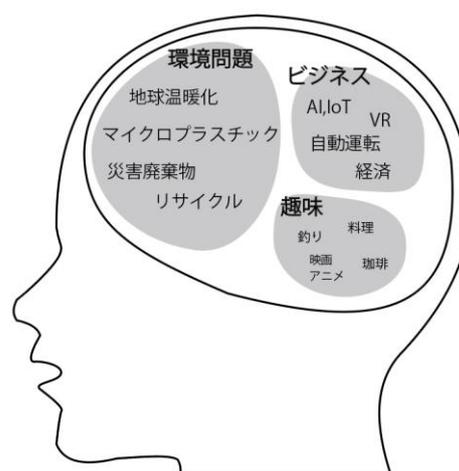
【就活のスケジュール】

時期	内容
2018 年 5 月	試験対策開始
同年 6 月	一般職試験
同年 7 月	人事院面接
同年 8 月	官庁訪問

【コラム：視野を広く】

視野を広く持つことが重要であると思います。趣味の場、大学、職場など様々な場所に異なった考え方を持っている人がいます。仕事をする上では沢山の人とやり取りする事になると思います。その為、このような人々と話し、関わる事で、多くの視点を知ると共に相手の立場に立ち物事を考える事が出来るようになると思います。こうすることで、自分の行動の先が何に通じるか想像できるようになると私は考えています。総じて言えば好きな事は勿論ですが、興味のある無しにかかわらず飛び込み、視野を広げる事が必要だと思います。

【Kの脳内メーカー】



かつお

ジョセフ

ぶー

K

【私はこんな人です】

- ・生まれは埼玉ですが、一度も居住したことは無く東京育ちです。
- ・高校ではバドミントンをやっていたが上手くはなりませんでした。
- ・研究室では赤色蛍光の研究をしていました。暗い部屋で赤色に発光する蛍光物質であるチタン酸カルシウムの性質を探るべく、暗い部屋で日々実験装置を製作したり、測定したりしていました。
- ・高校で教員をしていました。

【趣味・特技】

趣味はラーメンの食べ歩き、バドミントンです。ラーメンは年中食べていますがバドミントンは最近離れがちです。ラーメンについては新宿近郊がメインでしたので、他県にまで足を伸ばそうと考えています。（もしもいつか、国際的にラーメンが普及したら世界を股にかけて食べ歩こうと思っています。）とりあえず、健康の為にも、より美味しくラーメンを食べる為にも、もう一度ラケットを握ろうと思案中です。

【志望動機】

当初は、漠然と、様々な視点を持った組織で働きたいと考えていました。業界研究を重ねていく中で、国家公務員という職業は様々な問題を俯瞰できると考え、進路を決定しました。その中で、環境問題を扱う事は短中期的な視点は勿論、社会ひいては人類の未来について長期的な視点を持って仕事に取り組める魅力があると感じ、環境省を志望しました。

【環境省を志望される方へのメッセージ】

周りに流されずに、自分の考えをしっかり持つといいと思います。話に聞くところでは官庁訪問期間中にはネット上において、根も葉もないデマが流布するそうです。これは普段の生活でも同様です。私は官庁訪問では幸いにも周りの方々のお陰様で惑わされる事はありませんでした。これから環境省を志望される方は、根拠の無い周りの情報に流されず、自身で真偽を確かめ行動すると良いと思います。

就活のスケジュールまとめ

